

## C4「本質的安全設計、ガードとインターロック」講習会

### リスク低減のための具体的な設計方法、3ステップメソッド

## 1. ねらい

機械の安全化を推進する機械設計技術者、電気・制御設計技術者、機械のインテグレータ、機械ユーザの生産技術担当者と管理者向けにリスクの低減方を解説する機械安全の基本講座です。

現場の機械安全推進に必要な知識/技術が習得でき、現場の機械安全推進にとっても有益です。C1講習会（機械の安全原則）C2講習会（安全原則とリスクアセスメント）C3講習会（リスクアセスメント）を履修されていることをお勧めします。単独の講座としても受講できます。

機械のリスク低減方は3ステップメソッドと呼ばれる国際規格ISO 12100に示される手順が世界的に広く採用され、厚労省の機械の包括的な安全基準に関する指針にも示されています。国際規格は簡潔に表現されていますが、その記述は世界の安全に関する知見が盛り込まれたものでとても貴重かつ重要です。規格を実務に役立つように事例を多数含めて具体的にそして平易に解説します。この講義では規格の要求や数値の背景や意図なども説明します。

## 2. 開催日と場所および定員

- 開催日 月 日( ) 受付:9時15分より(接続開始9時00分)
- 開催場所 オンライン Zoomを使用します  
職場の自席、リモートワーク場所、別室、など
- 定員 20名

## 3. プログラム

時刻	時間(分)	講義No.	内容	講師, 備考
9:30 ~ 9:40	10		オリエンテーション	
9:40 ~ 10:00	20	1	第1章 リスクアセスメントとリスク低減 リスク低減のための方法論の概要、 ISO12100と機械の包括的な安全基準に関する指針	
10:00 ~ 10:30	30	2	第2章 本質的安全設計方針 危険源を設計によって除去する 設計によってリスクを低減する	
10:30 ~ 10:40	10		休憩	
10:40 ~ 11:50	70		(同上) 人間工学とヒューマン・マシン・インターフェース 使用者による本質的安全設計方針	
11:50 ~ 12:40	50		昼食・休憩	
12:40 ~ 13:50	70	3	第3章 ガードによるリスクの低減 ガードへの要求 安全距離と最小距離 人が接近するときの安全防護物の位置決め	
13:50 ~ 14:00	10		休憩	
14:00 ~ 15:00	60	4	第4章 インターロック装置と保護装置 インターロック装置設置への要求事項 ガード施錠装置 無効化の防止 検知保護装置	
15:00 ~ 15:10	10		休憩	
15:10 ~ 15:55	45	5	第5章 付加の保護方針 非常停止装置 ホールドツウラン、両手押しボタン、イネーブラ エネルギーの遮断、設備類(重量物、安全な接近)	
15:55 ~ 16:20	25	6	第6章 使用上の情報と残留リスク 機械に関する危険性等の通知情報の作成(指針)	
16:20 ~ 16:30	10		終了・退室	

本講習会Cコースは、厚生労働省通達「機械安全に関する設計技術者に対する機械安全教育カリキュラム」を完全に満たしています。  
\* C1,C2,C3,C4,C5の全講座の受講者に受講証明書(出席を証する文書の提出があれば修了証)を発行します。

## 4. 講師 当会講師

## 5. 受講お申込みと受講費用

ホームページよりお願いします。 <https://d-sostap.or.jp/apply/>  
会員 16,500円(税込) 一般 22,000円(税込)

お問い合わせ	<b>一般社団法人安全技術普及会</b> 〒140-0011 東京都品川区東大井5-4-19 三井第3ビル TEL 03-5769-0775 FAX 03-5769-0776 Email info@sostap.org ホームページ <a href="http://www.d-sostap.or.jp/">http://www.d-sostap.or.jp/</a>
--------	--